

## 第5学年国語科学習指導案

日 時：令和4年11月24日 公開授業2

対象学級：5年2組 30名

指導者：本間 燈

### 1 単元名

資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう

教材名 「固有種が教えてくれること」「グラフや表を用いて書こう」「統計資料の読み方」

(光村図書 5年)

### 2 内容のまとめ

第5学年及び第6学年

1 [知識及び技能] (2) イ

2 [思考力, 判断力, 表現力等] B 書くこと (1) エ, C 読むこと (1) ウ

### 3 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。  
[知識・技能] (2) イ
- (2) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。  
[思考・判断・表現] B (1) エ
- (3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。  
[思考・判断・表現] C (1) ウ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。  
[学びに向かう力, 人間性等]

### 4 単元について

#### (1) 児童について

ア これまで、説明的な文章において、原因と結果の関係や文章の要旨を捉える学習を行ってきた。また、報告文を書く学習において、引用したり、図や写真などを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表した経験がある。

イ 前単元「調べたことを正確に報告しよう」では、ロイロノートを使用し、自分で選んだテーマに沿って情報を集めたり、集めた情報を共有しながら話し合ったりして、深まった考えを自分なりにノートにまとめた学習経験がある。

ウ 友達と考えを共有しながら、文章で書き表す力が身に付いてきている。

#### (2) 教材について

ア 「書くこと」の教材「グラフや表を用いて書こう」は、自分の考えに合った資料を用いて文章を書く教材である。自分の考えの裏付けとなる資料を選び、その資料のどこに注目させるのかを考え、資料と文章を対応させて文章にまとめる学習を通して、説得力のある文章を書く力を高めることに適した教材である。

イ 「読むこと」の教材「固有種が教えてくれること」は、地図、表、写真、グラフといった多様な資料を提示しながら筆者の主張が展開されている文章である。どのように資料を扱い説明して

いるのか、また、資料を活用することでどのような効果があるのかなどについて考えていくことで、資料を用いた説明の仕方とその効果について考えることに適した教材である。

ウ 補助教材として「統計資料の読み方」を使用する。

### (3) 指導について

#### ア 本単元における言語活動の特徴等

「グラフや表を用いて、親に自分の考えが伝わる意見文を書く」という言語活動を設定する。自分の考えを伝えるために目的に合った資料を選ぶ力、資料の言葉・数値を基に自分の主張を説明する力を高めることができるようにしたい。

#### イ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等

「主体的な学び」を実現するために、本単元を「書くこと」と「読むこと」の複合単元として扱う。単元のゴールを「今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうかを、文章で親に伝える」と設定し、このゴールを1単位時間内のはじめと終わりにいつも意識させること、また、意見文を書く学習を通して児童自身がどのような力を付けたいかを意識させることで、1単位時間の学習に一人一人が目的意識をもって取り組めるようにする。

「対話的な学び」では、「自分の考えが読み手に伝わるポイント」を対話の視点とし、考えを共有する場面を資料の読み取り後や「固有種が教えてくれること」の文章と資料とのかかわりを考えた後などに設定することで、読み手に伝わる文章を書くことができるようにする。また、そのポイントを基に意見文の下書きや清書したものを共有し、資料を用いた文章の書き表し方に対する理解を深め、自分の表現に生かすことができるようにする。

「深い学び」では、「自分の考えが読み手に伝わるポイント」を基に、自分の選んだ資料や書きまとめた文章の言葉を推敲する時間を設定することで、理解した内容をより確かなものにする。その際、「今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうかを、文章で親に伝える」という目的を意識させ、よりよい言葉を選び使う意識を高めることができるようにする。また、単元の終末場面において、学習を通して付いた力と資料を用いた文章を読んだ経験を振り返る。そして、今後の読書や、資料を活用する社会科、理科の学習において、社会的事象や実験結果を表現するためにどのような言葉を使っているかなど、言葉に着目しようとする態度につなげていく。

#### ウ 研究の手立てとのかかわり

電子黒板にデジタル教科書を投影したりタブレットに資料を配付したりすることで、視覚化・焦点化を図る。また、ロイロノートを活用し、資料に直接書き込んだり、自分の考えをカードにまとめたりと、思考した内容が残るようにする。それを友達と共有したり、説明したり、比較検討したりすることで、単元の目標を達成するための手立てとしたい。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 <u>(2) イ</u>	① 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 <u>C (1) ウ</u>	① 粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、図表やグラフなどを用いた意見文を書こうとしている。

	②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 <u>B (1) エ</u>	
--	--	--

## 6 指導と評価の計画（11時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
第一次			
1 ・ 2 ・ 3 本 時	<p>今、生きている社会は、くらしやすい方向に向かっているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうか」というテーマについて、これまでの経験をもとに、自分の考えをもつ。</li> <li>・P152 のモデルから、グラフや表などの資料を用いた意見文を書き、親に伝えるという単元のゴールを確認し、学習の見通しをもつ。</li> </ul> <p>自分の考えに合った資料を選ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P148 「統計資料の読み方」を使い、資料の読み取り方を確認する。</li> <li>・自分の考えを伝えるために必要な資料を選ぶ。</li> </ul> <p>資料から分かる事実と、そこから考えられることを書き出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクール構想や増税など、日々のニュースや社会科の学習などをもとに考えることができるようにする。</li> </ul> <p><b>ICT (共有化・焦点化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を通して、文章を書く力を高めることを確認し、学習への意欲付けをする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えの裏付けとなる資料は、社会科の教科書と資料集から教師が準備し、ロイロノートに配付する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配付した資料に直接書き込んだり事実と自分の考えを色分けしてカードに書いたりするよう指示する。<b>ICT (焦点化)</b></li> </ul>	

	<p><b>資料と自分の考えは、つながっているのだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料と自分の考えとのつながりを検討する。</li> <li>資料のどの部分を取り上げるかを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルを使用し、自分の考えが親（読み手）に伝わるポイントを確認する。</li> </ul> <p><b>ICT（共有化・焦点化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「固有種が教えてくれること」の筆者と資料を紹介することで、説得力をもたせる文章を書くためのポイントを学ぶ意欲をもつことができるようにし、第二次の学習につなげる。</li> </ul>	<p><b>【知・技①】</b> [ロイロノート] 資料と自分の考えとのつながりや、資料のどの部分を取り上げるかを検討している。</p>
第二次			
<p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p><b>要旨をとらえるために、構成と内容を確認しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「固有種が教えてくれること」の内容の大体を捉える。</li> <li>「初め」「中」「終わり」のまとまりに分け、要旨につながる筆者の考えが書かれた段落を見つける。</li> </ul> <p><b>筆者は、どのような言葉を使って資料を説明しているのだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような言葉を使っているかに着目しながら、それぞれの資料と文章を結び付けて読む。</li> <li>意見文を書く際に使えるような言葉をメモする。</li> <li>自分の選んだ資料の数値や言葉を検討し、加除修正しながら整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の考えを基に、資料をどのように説明しているのかを考えると、「固有種が教えてくれること」を読む目的を確認する。</li> <li>「要旨」「構成」「事実」の学習用語を確認する。</li> <li>「資料2を見てください。」や具体的な数の記載によって、伝えたいことを分かりやすく示したり説得力をもたせたりしていることが理解できるようにする。</li> </ul> <p><b>ICT（共有化・焦点化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の書き方を参考に、自分が選んだ資料を検討する時間を設定する。</li> </ul>	<p><b>【思・判・表①】</b> [ノート・ロイロノート] 「資料〇を見てください。」や具体的な数の記載など、資料と文章を結び付ける言葉や表現を使うと分かりやすくなったり説得力が生まれたりすることを考えている。</p>

	<p>資料をのせる位置は、どこがよいのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章と資料を載せる位置を検討する。</li> <li>ワークシートを使って、自分が選んだ資料を載せる位置を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文章と資料が離れた位置にあるモデル」を使い、資料が近くにあることで分かりやすくなることを理解できるようにする。<b>ICT (共有化・焦点化)</b></li> <li>分かりやすさとともに、文章の読みやすさも考えるよう助言する。</li> </ul>	
--	--	--	--

第三次

<p>8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 課外</p>	<p>何をどの順序で書くと、自分の考えが伝わるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P152 のモデルを基に、文章構成を考える。</li> </ul> <p>自分の考えが伝わるように、下書きを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが伝わることを意識しながら、ロイロカードに下書きをまとめる。</li> <li>友達と下書きを読み合い、よさを認め合いながら、自分の文章を推敲する。</li> </ul> <p>意見文を完成させよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに清書する。</li> </ul> <p>意見文を友達と読み合い、よさを伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み合い、よさを伝え合う。</li> <li>親に読んでもらい、単元を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書を使い、組み立てと順序を確認する。<b>ICT (共有化・焦点化)</b></li> <li>文章を推敲するために、1 文ずつロイロカードに記入するよう指示する。<b>ICT (共有化・焦点化)</b></li> <li>親が読みやすいように意識しながら、書きまとめることができるようにする。</li> <li>資料は、印刷して配付する。</li> <li>感想はロイロノートで交流するよう指示する。<b>ICT (共有化)</b></li> <li>学習を通して付いた力を確認する。</li> <li>資料を用いた文章を読んだ経験を振り返り、今後の生活において、資料と文章を結び付ける言葉や表現などに着目しようとする態度につなげる。</li> </ul>	<p>【主体的①】〔行動観察・ワークシート・ロイロノート〕粘り強く、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、「今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうか」というテーマについて、資料を用いた意見文を書こうとしている。</p> <p>【思・判・表②】〔ワークシート・ロイロノート〕資料と文章を結び付ける言葉や表現を使い、自分の考えが伝わる意見文を書いている。</p>
---	--	--	--

## 7 本時の指導（3時間目／全11時間）

### （1）目標

資料と自分の考えとのつながりや、資料のどの部分を取り上げるかを検討することができる。

### （2）展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）
導入 5分	<p>1 前時の学習想起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを再確認し、選んだ資料を確認する。</li> </ul> <p>2 本時の課題把握</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">資料と自分の考えは、つながっているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料から分かる事実と自分の考えが繋がっていないモデル」を提示し、前時までに自分が書いた内容について確かめる必要感をもつことができるようにする。</li> </ul>
展開 40分	<p>3 課題解決</p> <p>(1) 前時までに作成したロイロカードを見直し、資料から読み取った事実が自分の伝えたいことにつながっているかどうか、ペアやグループで確認する。</p> <p>(2) 全体で共有し、自分の考えが親（読み手）に伝わるポイントを確認する。</p> <p style="text-align: center;"><b>ICT（焦点化・共有化）</b></p> <p>(3) 資料のどの部分を取り上げると、自分の考えがより伝わるかを検討し、ペアやグループで確認する。</p> <p>(4) 全体で共有し、自分の考えが親（読み手）に伝わるポイントを確認する。</p> <p style="text-align: center;"><b>ICT（焦点化・共有化）</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今、生きている社会が、くらしやすい方向に向かっているかどうか」の根拠として納得できるかどうか、複数の目で確かめ、判断できるようにする。</li> <li>・加除修正する場合には、前時とは違う色で記述するよう指示し、自分の学びを振り返ることができるようにする。</li> <li>・「経年変化の少ない部分を取り上げたモデル」を提示し、資料のどの部分を説明するかによって、伝えたい内容の説得力が変わることを理解できるようにする。</li> </ul> <p>◇【知・技①】〔ロイロノート〕</p> <p>資料と自分の考えとのつながりや、資料のどの部分を取り上げるかを検討している。</p>
終末 5分	<p>4 まとめ</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の考えが親（読み手）に伝わるポイント</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 資料から分かる事実と自分の考えがつながるように選ぶ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">② 大きな変化に注目させて、説得力をもたせる。</p> <p>5 振り返り</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の考えを伝えるためのポイントが分かりました。ぼくは、いちばん小さい数と大きい数に注目させて、どのくらい増えたかを分かりやすく伝えようと思いました。次の学習でも、自分の力をレベルアップさせたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「固有種が教えてくれること」の筆者と資料を紹介することで、説得力をもたせる文章を書くためのポイントを学ぶ意欲をもつことができるようにし、第二次の学習活動につなげる。</li> </ul>

### (3) 板書及び電子黒板等の計画

#### ア 板書

⑤ 今日の学習について  
次の学習に向けて

**くらしやすい**

経年変化の少ない部分を取り上げたモデル

**大きな変化**

**説得力がある**

おどろき・印象

**くらしにくい**

資料から分かる事実と自分の考えが繋がっていないモデル

**つながっていない**

〈チェックポイント〉

- 大きな変化に注目させて、説得力をもたせる。

〈チェックポイント〉

- 資料から分かる事実と自分の考えが、つながるように選ぶ。

⑥ 資料と自分の考えは、つながっているのだろうか。

テーマ

今、生きている社会は、くらしやすい方向に向かっているか。

資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう

#### イ 電子黒板

